

JAFTMA

JAPAN FISHING TACKLE MANUFACTURERS ASSOCIATION

令和3年1月31日 発行 第81号

2021年日釣工会長挨拶

釣りの現場のニューノーマル確立へ 新たなチャレンジを



一般社団法人
日本釣用品工業会
会長 島野 容三

謹んで新年のお祝いを申し上げます。旧年中は（一社）日本釣用品工業会（日釣工）の活動に、多大なご支援・ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。本年も変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

昨年は、現代を生きるほとんどの人にとって、まさに人生で経験したことの無い苦難を強いられる年となりました。1月に横浜で開催した釣りフェスティバルが前年を上回る来場者で賑わい、幸先の良いスタートを切ったと思えたのもつかの間、得たいの知れないウイルスによってあらゆる経済活動や日常生活が甚大な損害を受けることとなりました。本来であれば希望に満ちたものになるはずだった春の新生活や、各種スポーツ、エンターテインメント、レジャーシーズンは閉ざされ、東京オリンピック・パラリンピックも延期となって、いわば失われた年になってしまった感は否めません。

しかしながらその一方で、この難関を乗り越えるべく行政や民間がそれぞれに工夫を凝らし努力を重ね、新しい生活様式の確立を共にめざしたことを忘れてはならないでしょう。さらには、私たち人類が失いかけていた大切なものを取り戻す、そんなきっかけとなったことがあったのも確かです。そのひとつが、温暖化ガス排出量の減少というプラスの「副産物」ではなかったでしょうか。事実、インド北部では数十年ぶりにヒマラヤの眺望が確認できたといえますし、私たちの周りでも「空がきれいになった」と感じた人は少なくありません。もちろん工場の稼働や物流が制限されてしまったことが大きな理由ではありますが、世界が「脱炭素」の重要性を改めて強く意識することになったのは間違いのないはずで

これは同時に、私ども日釣工がかねてより推進している「LOVE BLUE事業」にとっても、大きな意義があったことと感じています。釣りは地球の恵みを最大限に活用するものであり、「LOVE BLUE事業」はまさにその地球への恩返しです。優先事業のひとつ「水中クリーンアップ活動」につきましては、昨年は1道1府23県、35箇所を実施。2013年の事業開始からの累計で延べ1,000日を超えました。「放流事業」は、青森、山形、秋田、神奈川、静岡、大阪、大分、鹿児島に、新たに新潟、滋賀、熊本の3県を加えて1府10県とし、ヒラメ、クロダイ、マダイ、ホンモロコなど全9魚種、合計735万6,305尾の稚魚を放流して、トータルの実績は昨年度までの約200万尾から一気に1,000万尾近くに達しました。また、地球環境基金との協働により水辺の環境保全活動を行う諸団体を支援する「LOVE BLUE助成」、全商品に添付をお願いしております「環境・美化マーク」につきましても継続的に実施しておりますし、環境系のトップリーダーとの対談や新聞一般紙全国版での広告掲載など、釣りの未来を拓き、開かれた社会貢献事業としての認知・意義をさらに高めてきていると確信している次第です。釣具店さまにおかれましても、引き続きご協力を賜りお力添えいただけますよう、改めてお願い申し上げます。

さて、新しい時代。『釣りフェスティバル2021』も新たな価値創造に挑みます。今回は1月22日（金）～24日（日）の3日間、初の試みとなるオンラインでの開催。各社の新製品や最先端技術を世界に先駆けて一同に公開するほか、パシフィック横浜に実際のステージを設け、トップアングラーによるトーク&ライブ配信や視聴者参加型のプログラム、出展社独自のコンテンツ発信など、オンラインの特性をフルに活用した内容でお届けいたします。従来から人気の「クール・アングラーズ・アワード」や「第12代アングラーズアイドル」もライブで配信するほか、釣りフェスティバルでしか買えないオリジナルグッズの販売も、各社のECサイトと連動し万全の態勢で実施いたします。例年のように、新製品を手にとって確かめていただくことができないというもどかしさはあるかもしれませんが、逆に現地に来ることのできない世界中の圧倒的多数の釣りファン及びメディアの方々に、時空を超えて新製品や技術、釣りの魅力をアピールできる絶好のチャンスであると捉えることもできます。また出展社の皆さまにとっても、会場のブースだけでは披露しきれない製品、独自技術の裏側、あるいはストーリーなどをふんだんに発信できるというメリットもあるでしょう。コロナに関しては、まだまだ先行きが見えない状況です。そうした時代にあって、日釣工としても今回の釣りフェスティバルをはじめ、釣りファン及び業界への情報発信について模索してまいります。そして釣具店さまと共に新たな“釣り文化”を創造し、盛り上げていくよう努めてまいります。

昨年春の緊急事態宣言による外出自粛の中、私ども釣具業界も一時的に落ち込みが見られましたが、規制緩和後には“三密”の対極にあるアウトドアレジャーとして釣りが見直され、コアなファンはもちろん若者をはじめとした新規参加者も多くあったという、いわば追い風も吹きました。日釣工は本年も、釣りレジャーの地位向上のため、社会と共生できる釣りを目指し、環境に配慮したものづくりをはじめとして、国民生活を豊かにする釣りの創造に積極的に取り組んでまいります。今後とも変わらぬご厚誼を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

CONTENTS



目次

島野会長年頭の挨拶	P.1
第33回理事会報告	P.2
釣りフェスティバル2021開催	P.3
ロイヤルアングラー賞2021	P.4
LOVE BLUE委員会からのお知らせ	P.5
規格・安全委員会からのお知らせ	P.6
広報・組織委員会からのお知らせ 会員向け初回無料法律相談の実施 アウトドアイベントとの連携	P.7
海外戦略プロジェクトからのお知らせ	P.7
事務局だより	P.8

第33回理事会報告

去る令和2年11月26日(木)にオンライン会議システムZoomにて第33回理事会が開催されましたので、概要を報告いたします。詳細は議事録をご覧ください。

第1号議案 JAF実行委員会

大村一仁委員長より出展申込状況、開催概要、収支について報告があり、承認された。

第2号議案 委員会活動報告に関する件

(1) LOVE BLUE委員会報告

小島忠雄委員長より、水中清掃、専門機関と連携した放流、水産庁後援内水面の釣り場拡大事業(ワカサギ)、広報について報告があり、承認された。

(2) 規格・安全委員会報告

藤井治幸委員長より、委員会及びWG活動状況、関係各機関との連携の進捗状況の報告があり、承認された。

(3) 市場調査委員会報告

岡田信義委員長より、第24回調査報告書の間概要の報告があり、承認された。

(4) 広報・組織委員会報告

櫻井孝行委員長より、委員会活動の概要等につき報告があり、WGの報告は各リーダーより行い、了承された。

① 広報拡大WG

河原也寸志リーダーより、「あした、釣り行こ!通信」、「アウトドアイベントとの連携」について報告があった。

② 組織強化WG

荒井一郎リーダーより、当工業会入会会員増等に向けた施策への検討について報告があった。

第3号議案 プロジェクト活動報告に関する件

各リーダーより報告があり、了承された。

(1) 情報収集プロジェクト報告

加藤誠司リーダーより指名された事務局が今後の活動方針等を報告し了承された。

(2) 海外戦略プロジェクト報告

高階義尚リーダーより、実施したアンケート及びそれに基づく活動方針、釣りフェスティバルの海外向け広告配信について報告を行った。

第4号議案 令和2年度中間決算監査報告に関する件

森幹雄監事より、中間決算監査について報告があり、了承された。

第5号議案・第6号議案は案件がないため省略された。

第7号議案 その他報告承認事項に関する件

事務局よりその他の案件について報告があり了承された。

(1) 令和3年度会議日程

(2) 委員会運営規則改正案

(3) ロイヤルアングラマー賞

ロイヤルアングラ賞2021 布施 英利様



当工業会では、2008年から経済・文化・芸能・スポーツ等の各界でご活躍されている方々で、釣りに対して造詣が深く、趣味として愛好されている方々や、釣り及び釣り文化の発展に寄与されている方々の中からロイヤルアングラ賞を選出し、表彰させていただいています。2021年は美術批評家・解剖学者の布施 英利（ふせ ひでと）様に授与いたしました。

布施英利様ご紹介

美術批評家・解剖学者。1960年群馬県生まれ。東京藝術大学美術学部芸術学科卒業後、同大学院博士課程（美術解剖学専攻）修了。学術博士。大学院在学中に最初の著書『脳の中の美術館』を出版。大学院卒業後は東京大学医学部助手（文部教官）として人体解剖学を研究。95年、批評家として独立。科学と芸術の交差する「美術解剖学」をベースに絵画、漫画、文学など幅広いテーマに取り組んでいる。『子どもに伝える美術解剖学』『人体5億年の記憶』『洞窟壁画を旅して』など。以来、これまで約50冊の著書がある。幼少の時から近所での釣りに夢中になり、現在も仕事の合間には釣りを愛好されています。



釣りを始めたきっかけ



群馬県に住んでいた小学生の時、友達と一緒に川釣りに出かけたのが始まり。利根川支流の烏川、鑄川、神流川などで、ウグイや鯉を狙った「吸い込み釣り」をよくやった。リールで重い仕掛けを投げる感触は、今でもよく覚えている。仕掛けを投げた後は、竿先の鈴が鳴るのを待っているだけで、河原に寝転がって川原の風景を眺めて

過ごした。また少年時代、近所の田んぼには縄文土器が転がっていて、鎌（やじり）や土偶を見つけるのにも熱中していた。つまり、小学生の頃の自分が夢中になっていたのは「釣りと考古学」で、大人になってから、それは自分の中に狩猟・漁猟・採集時代へのノスタルジーを培うものだったのだと考えるようになった。今でも、縄文の遺跡や博物館などで、骨で作った釣り針などが展示されているのを見ると、自分の心の原点は、そういう釣りや、原始時代の生活への憧れにあったのだと考えることがある。高校・大学は、釣りの機会は減ったが、20代の時に読んだ開高健の『オーバ!』を読んで感動し、釣りを再開した。ずっと生涯、釣りをしてきたというわけではなく、熱中したり、遠ざかったりと波があったが、この歳まで釣りを愛好している。

好きな釣り、対象魚

今は神奈川県湯河原町に住んでいるので、箱根の芦ノ湖も近く、そこでルアーフィッシングをしたり、また海も近いので、防波堤で（アオリイカ狙いのエギ釣り等）をしたりしている。そういう日常の延長としての釣りだけでなく、アマゾンのジャングルを旅したときは（観光客向け程度のものだが）ピラニア釣りをして、開高健のことを想ったりもした。また40歳くらいの時、NHKテレビの『課外授業ようこそ先輩』という番組に出演し、「魚の絵を描く」という授業をしたのだが、その中で体験学習的に、母校の小学生を連れて群馬の湖でヘラブナ釣りをし



た。釣った魚を水槽に入れて観察したり解剖したりという授業をした。…釣りについては、自分は「この道一筋」という性格の人間ではないので、一つの釣りのスタイルを極めるというよりは、湖や川や磯や砂浜、防波堤など、あらゆる状況に出かけて行って、いろいろなスタイルの釣りをするのが好きだ。釣り道具も、いろんな釣り状況を想定して、体系的に、長い竿、太い竿、短い竿、細い竿など、ゴルフのクラブのようにいろいろ集めるのが好きです。

釣りの魅力

自分にとって釣りとは、まず第一に「自然との対話」のための手段としてあります。スポーツやゲームとして釣りを愛好する方も多いと思いますが、自分は、釣りそのものを目的とするということではなく、釣りをするために山や海に行き、自然の中に身を置きながら、水を眺め、岩を眺め、空を眺め、そして魚の生態を観察する、そういう「自然との対話」がある釣りの時間を、なにより愛しています。自分は学者なので、ライフワークとも言える研究テーマがあるのですが、それは「ヒトの体の5億年」とでもいうもので、ヒトの体の中には魚に共通するもの（脊椎という軸など）があり、自然の中で魚と対峙する中で、そういう進化の物語とでもいうべきものと触れる実感を持てるのが、今の自分にとっての釣りの喜びとなっています。都市化・人工化が進んだ社会を「脳化社会」と言いますが、そのような時代状況の中で、自然との対話ができる釣りの時間は何より貴重なもので、多くの人に、自然の中で釣りに親しんでもらいたいと考えています。



LOVE BLUE委員会からのお知らせ

今年も会員企業の皆様、参加企業・団体の皆様のご理解とご協力のもと、つり環境ビジョンコンセプトに基づくLOVE BLUE事業は、日本全国において公平に優先三事業（水辺をキレイに、サカナを守ろう、フィールドを広げよう）を推進してまいります。何卒よろしくお申し上げます。

LOVE BLUE プロダイバーによる水中クリーンアップ活動

プロダイバーによる水中クリーンアップ活動（10月から12月）では、新規実施場所5箇所を含む、8県で52日間を実施（2020年度累計1道1府14県24箇所109日実施：12月末現在）。

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言を受け、4月から6月の活動を延期しておりましたが、7月より都道府県を跨いだ移動制限の解除に伴い、水中クリーンアップ活動を再開致しました。

引き続き、安全作業を最優先に、ご関係の皆様と連携しながら実施して参ります。

10月～12月までの実績

期間	実施日数	実施場所
10/4～10/8	5日間	石川県金沢市 金沢港金石地区船溜
10/11～10/15	5日間	千葉県南房総市 七浦漁港
10/20～10/24	5日間	滋賀県大津市 堅田漁港
10/27～10/31	5日間	滋賀県大津市 瀬田舟溜
11/3～11/7	5日間	滋賀県米原市 磯漁港
11/9～11/11	3日間	滋賀県彦根市 宇曾川漁港
11/12～11/13 11/17～11/18	4日間	滋賀県近江八幡市 沖之島漁港
11/21～11/23	3日間	愛媛県伊方町 田之浦漁港
11/25～11/28	4日間	高知県土佐市 宇佐漁港
12/1～12/5	5日間	徳島県鳴門市 亀浦漁港
12/7～12/11	5日間	岡山県瀬戸内市 牛窓港
12/19～12/21	3日間	沖縄県読谷村 都屋漁港



石川県金沢市 金沢港金石地区船溜



滋賀県米原市 磯漁港



愛媛県伊方町 田之浦漁港



徳島県鳴門市 亀浦漁港



沖縄県読谷村 都屋漁港

LOVE BLUE専門機関と連携した放流事業

専門機関と連携した放流事業では今年度も引き続き、釣り人の皆様に喜んで頂ける魚種を放流しております。

県	魚種	放流尾数	放流場所	放流日
山形県	クロダイ	1万8880尾	吹浦漁港 酒田港第一船だまり 小波渡漁港	10月7日
大阪府	キジハタ	1万尾	堺市地先 大津市地先	10月22日



山形県 クロダイ 総放流数1万8880尾



大阪府 キジハタ 総放流数1万尾

水産庁後援 つり環境ビジョンコンセプトに基づくLOVE BLUE事業 内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）

水産庁後援事業として、全国からの応募受付（期間6/22～9/30）を終了し、2020年度採択団体が決まりました。尚、応募要領は水産庁から各都道府県担当部局、全国内水面漁業協同組合連合会から各都道府県内水面漁業協同組合連合会等、さらに、中央水産研究所内水面センターから各都道府県水産試験場へ配布・周知されておりました。

2020年度採択団体

採択番号	事業主体	実施地
014	加古川漁業協同組合	兵庫県 東条湖
015	西網走漁業協同組合	北海道 網走湖
016	川俣湖漁業協同組合	栃木県 川俣湖
017	魚沼漁業協同組合	新潟県 奥只見湖
018	花山漁業協同組合	宮城県 花山ダム

地球環境基金 企業協働プロジェクト LOVE BLUE助成

独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金と連携したLOVE BLUE助成では、本事業で採択された水辺の環境保全を目的に活動する11団体（2015年度助成開始以来累計48団体）が、各地で活発に活動されています。各団体の皆様からは「LOVE BLUE助成のおかげで、より充実した活動が行えており、釣人の皆様に深く感謝します！」とお喜びの言葉をいただいております。引き続き、水辺を守る皆様と連携しながら展開して参ります。



12月19日（土）NPO法人アーキペラゴ（香川県）

規格・安全委員会からのお知らせ

ライフジャケット安全・啓発ワーキンググループ

規格・安全委員会LJWG（高階才文リーダー）では、ライフジャケット着用の啓蒙から点検の重要性を伝えるにあたり、1月22日（金）からオンライン開催の釣りフェスティバル2021に活動を掲載致します。

広報・組織委員会からのお知らせ

～会員向け初回無料法律相談の実施～

会員の皆様へ、初回無料にて法律相談をご利用頂けるサービスのご提供を行っております。初回無料法律相談の詳細は、別添資料をご覧ください。

広報拡大WG

広報・組織委員会（櫻井孝行委員長）、広報拡大WG（河原也寸志リーダー）では、引き続き「釣りの世界に閉じることなく、釣りに関連しやすい他業種との交流が必須」また「釣り意向者はアウトドア全般に感心が高い」という調査結果をもとに、アウトドアイベントとの連携を行っております。

今般11月8日・9日に、埼玉県比企郡滑川町の国営武蔵丘陵森林公園にて、釣りフェスティバル等で連携を行った、快適生活研究家 田中ケン氏が代表を務める有限会社ダディーズオピニオンが主催したアウトドアの魅力を伝えるOutdoor Parkのイベントに、当WGが編集を行っている「あした、釣り行こ！通信」がキャッチ&イート（ホンモロコを釣りその場でから揚げにして食べる）とルアーキャスティング・ルアーペインティングの2つのブースを出展いたしました。



釣りスクラリー（フライフィッシング体験）



釣りスクラリー（ルアーペインティング体験）



キャッチ&イート（ホンモロコ釣り体験）



キャッチ&イート（釣ったその場でから揚げ）

海外戦略プロジェクトからのお知らせ

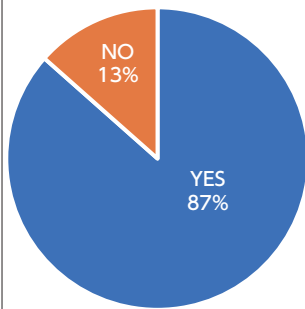
アンケートへのご協力の御礼 ～海外市場での会員企業の皆様の釣り具ビジネス機会拡大～

海外戦略プロジェクト（高階義尚リーダー）では、10月19日（月）～11月20日（金）まで、当プロジェクトへのご要望等につきアンケートを実施いたしました。ご多用の折、多くの会員の皆様にご協力いただきましたこと、あらためて感謝申し上げます。いただきました回答（8pをご覧ください）を基に、会員の皆様方のお役に立てるよう、プロジェクト活動を推進してまいります。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

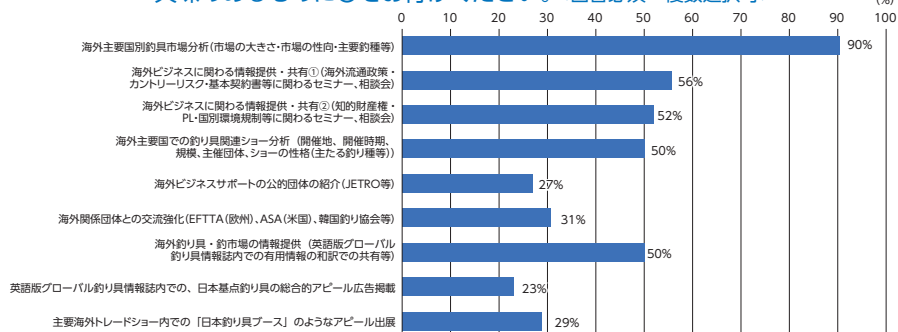
【アンケート概要】

送付日 2020年10月19日（月）
 締切日 2020年11月20日（金）
 方法 インターネット Googleフォームにて選択もしくは記入
 回答数 52件

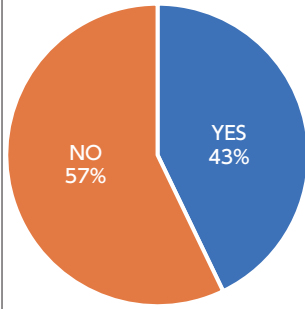
海外に販売網または生産拠点
 (委託生産) を有していますか
 <回答必須>



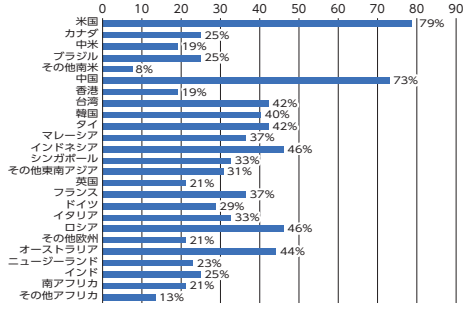
プロジェクトチームの活動といたしまして段階的に以下のものを考えておりますが、
 興味のあるものに○をお付けください。<回答必須・複数選択可>



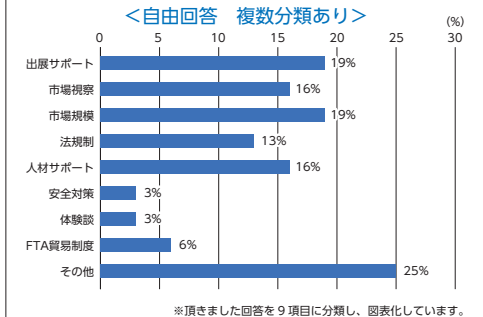
今後海外市場への参入や生産
 拠点確保を考えたいですか
 <設問1 NO回答者のみ>



海外ビジネスの今後の展開において重要と
 思われる国・地域にチェックをお願いします。
 <回答必須・複数選択可>



その他海外ビジネスの理解・参入促進のためにどのような
 サポートが有用と思われるか聞かせてください。



事務局だより

- ◆あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。本年も事務局一同、当工業会の各事業の推進と活性化を図ってまいります。引き続きご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。
- ◆釣りフェスティバル2021へのご出展ありがとうございました。お陰様で多くの会員の皆様にご出展いただき、盛況のうちに無事終了することができました。アーカイブは会期終了後2月25日（木）まで公開いたしております。
- ◆「第24回 釣用品の国内需要動向調査報告書」を2月1日（月）に発刊いたします。業界動向の把握と将来への戦略立案にご活用いただけますと幸いです。調査報告書作成にご協力いただいた、会員企業の皆様、製造・流通関連の皆様、業界関連の皆様、そして市場調査委員会の皆様には改めまして御礼申し上げます。
- ◆新型コロナウイルス感染症の拡大が続いております。皆様方におかれましては、くれぐれもご自愛くださいますようお願い申し上げます。当工業会は、感染拡大防止を鑑み、時短勤務及び一部在宅勤務を導入しております。皆様方にはご不便をおかけいたしますが、何とぞご了承賜りますようお願い申し上げます。

JAFTMA
 JAPAN FISHING TACKLE MANUFACTURERS ASSOCIATION

一般社団法人
日本釣用品工業会

〒104-0032東京都中央区八丁堀2-22-8日本フィッシング会館5F
 TEL 03 (3555) 0101 (代表) FAX 03 (5542) 2929 <http://www.jaftma.or.jp/>